

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年11月4日

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2112 URL http://www.ensuiko.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 久野 修慈  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田 俊一 (TEL) 03-3249-2381  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月4日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績 (2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	13,384	9.3	274	△39.6	244	△37.1	138	△40.6
2022年3月期第2四半期	12,246	3.9	454	△7.1	389	△17.0	233	△23.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 122百万円(△48.8%) 2022年3月期第2四半期 239百万円(△34.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	5.10	—
2022年3月期第2四半期	8.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	25,202	10,381	41.2
2022年3月期	26,114	10,379	39.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 10,381百万円 2022年3月期 10,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	25,300	0.7	460	△43.0	510	△43.8	330	△45.9
								12.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —  
期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	35,000,000株	2022年3月期	35,000,000株
2023年3月期2Q	7,696,676株	2022年3月期	7,773,675株
2023年3月期2Q	27,244,839株	2022年3月期2Q	27,171,637株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスのオミクロン株による急速な感染再拡大、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴いエネルギー価格や原材料価格の高騰に加え、日米金利差拡大等による急激な円安の進行など、先行きの不透明感が一層増しております。

このような環境の中で、当社および当社グループはお客様、地域社会、関係取引先、従業員およびその家族の安全と健康を確保することを最優先に、生活必需品である砂糖や、オリゴ糖をはじめとした機能性素材等の製品を、非常時においても安定して消費者の皆様にお届けすることを第一義に考え、お客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」として、年度計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

#### ①砂糖事業

ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）が19.42セントで取引を開始した海外原糖市況は、ロシアのウクライナ侵攻に起因する原油価格高騰を受け、砂糖主要生産国であるブラジルにおいてさとうきびを原料とするエタノール生産比率の上昇観測が高まり、砂糖生産量の減少が懸念され、4月中旬には20.51セントの高値をつけました。5月以降はブラジルの燃料価格引下げ政策やインドの増産見通しが強まり、8月に17.20セントまで下げるもコロナ禍から回復する底堅い需要に支えられ、18.42セントにて当第2四半期連結累計期間を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白大袋1kg当たり）は、期初204円～205円で始まり、海外粗糖相場の高騰や海上運賃の上昇、急激な円安の影響を受けた結果、8月上旬に216円～217円に値を上げ、同水準のまま当第2四半期連結累計期間を終了しました。

精糖およびその他糖類など国内販売のうち、家庭用製品は大手量販店への販売が堅調に推移しました。業務用製品については人流回復により外食産業向けや土産品等向けが復調し売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、当期における砂糖事業全体の売上高は12,448百万円（前年同四半期比10.3%増）、原材料コスト等の上昇に伴いセグメント利益は582百万円（前年同四半期比21.9%減）となりました。

#### ②バイオ事業

オリゴ糖部門では、長引くコロナ禍において免疫力向上に関わる整腸作用が注目を浴びるなかで、特定保健用食品「オリゴのおかげ」シリーズの拡販に注力してまいりました。しかしながら、前年同四半期における人気TV番組でオリゴ糖が紹介されたことが発端となる特需の影響が大きく、売上高は前年同四半期を下回りました。

ビーツ部門は、前期に引き続き大学駅伝でもおなじみの名監督 原晋氏を起用するなど積極的な広告宣伝活動により、国内市場におけるビーツの認知度向上、ならびに当社ビーツ製品の拡販に努めてまいりました。

以上の結果、当期におけるバイオ事業全体の売上高は925百万円（前年同四半期比1.5%減）、セグメント利益は238百万円（前年同四半期比10.0%減）となりました。

#### ③その他

その他の事業につきましては、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は67百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益は30百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,384百万円（前年同四半期比9.3%増）、営業利益は274百万円（前年同四半期比39.6%減）、経常利益は244百万円（前年同四半期比37.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は138百万円（前年同四半期比40.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

### ①資産

流動資産合計は前連結会計年度末に比べて638百万円減少し、8,333百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,233百万円減少、商品及び製品が294百万円、原材料及び貯蔵品が144百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産合計は前連結会計年度末に比べて273百万円減少し、16,868百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が104百万円、投資有価証券が127百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて912百万円減少し、25,202百万円となりました。

### ②負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて914百万円減少し、14,821百万円となりました。これは主に、長期借入金が908百万円減少したことによるものであります。

### ③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2百万円増加し、10,381百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べて1,233百万円減少し、2,300百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、104百万円(前年同四半期は210百万円の収入)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益244百万円、減価償却費320百万円等による資金の増加があった一方で、棚卸資産の増加504百万円、法人税等の支払額120百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、172百万円(前年同四半期は482百万円の資金支出)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出131百万円等による資金の減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、1,175百万円(前年同四半期は948百万円の資金支出)となりました。

これは、配当金の支払135百万円、借入金の純減少額1,040百万円による資金の減少があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月13日付「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,533	2,300
受取手形及び売掛金	1,726	1,736
商品及び製品	1,301	1,596
仕掛品	152	216
原材料及び貯蔵品	1,125	1,270
その他	1,133	1,213
流動資産合計	8,972	8,333
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,192	10,207
減価償却累計額	△7,399	△7,518
建物及び構築物(純額)	2,793	2,688
機械装置及び運搬具	12,101	12,234
減価償却累計額	△10,260	△10,413
機械装置及び運搬具(純額)	1,840	1,820
工具、器具及び備品	431	434
減価償却累計額	△377	△383
工具、器具及び備品(純額)	53	50
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	76	33
有形固定資産合計	9,998	9,828
無形固定資産		
ソフトウェア	28	18
ソフトウェア仮勘定	4	—
その他	6	6
無形固定資産合計	38	25
投資その他の資産		
投資有価証券	4,781	4,653
長期貸付金	1,477	1,508
繰延税金資産	772	786
その他	72	65
投資その他の資産合計	7,104	7,015
固定資産合計	17,142	16,868
資産合計	26,114	25,202

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	883	696
短期借入金	4,800	4,800
1年内返済予定の長期借入金	2,748	2,616
未払法人税等	128	119
未払消費税等	39	137
賞与引当金	65	63
その他	937	1,224
流動負債合計	9,602	9,657
固定負債		
長期借入金	5,528	4,620
退職給付に係る負債	372	311
その他	232	232
固定負債合計	6,132	5,163
負債合計	15,735	14,821
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	12,099	12,088
自己株式	△2,976	△2,946
株主資本合計	11,115	11,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△734	△751
繰延ヘッジ損益	0	3
退職給付に係る調整累計額	△1	△4
その他の包括利益累計額合計	△736	△752
純資産合計	10,379	10,381
負債純資産合計	26,114	25,202

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	12,246	13,384
売上原価	10,315	11,630
売上総利益	1,930	1,753
販売費及び一般管理費	1,475	1,479
営業利益	454	274
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	57	67
その他	4	25
営業外収益合計	74	106
営業外費用		
支払利息	50	45
持分法による投資損失	60	85
支払手数料	27	3
その他	1	0
営業外費用合計	140	135
経常利益	389	244
税金等調整前四半期純利益	389	244
法人税、住民税及び事業税	138	112
法人税等調整額	17	△6
法人税等合計	155	105
四半期純利益	233	138
親会社株主に帰属する四半期純利益	233	138



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	233	138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△17
繰延ヘッジ損益	△0	2
退職給付に係る調整額	3	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	△0
その他の包括利益合計	5	△16
四半期包括利益	239	122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	239	122

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	389	244
減価償却費	326	320
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△46	△62
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	△2
受取利息及び受取配当金	△70	△81
支払利息	50	45
支払手数料	23	—
為替差損益 (△は益)	△0	△11
持分法による投資損益 (△は益)	60	85
売上債権の増減額 (△は増加)	△141	△10
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△660	△504
仕入債務の増減額 (△は減少)	311	△186
その他	79	352
小計	321	189
利息及び配当金の受取額	70	81
利息の支払額	△49	△46
法人税等の支払額	△131	△120
法人税等の還付額	0	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	210	104
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△341	△131
無形固定資産の取得による支出	△0	△4
投資有価証券の取得による支出	△121	△0
貸付けによる支出	△450	△470
貸付金の回収による収入	431	436
その他	△0	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△482	△172
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△350	—
長期借入れによる収入	477	—
長期借入金の返済による支出	△940	△1,040
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△135	△135
財務活動によるキャッシュ・フロー	△948	△1,175
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	11
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,219	△1,233
現金及び現金同等物の期首残高	4,897	3,533
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,677	2,300

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	11,276	910	—	12,187	—	12,187
その他の収益	—	—	58	58	—	58
外部顧客への売上高	11,276	910	58	12,246	—	12,246
セグメント間の内部売上高又は振替高	14	28	8	50	△50	—
計	11,290	939	66	12,296	△50	12,246
セグメント利益	745	264	30	1,040	△586	454

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	12,434	891	—	13,325	—	13,325
その他の収益	—	—	59	59	—	59
外部顧客への売上高	12,434	891	59	13,384	—	13,384
セグメント間の内部売上高又は振替高	13	34	8	55	△55	—
計	12,448	925	67	13,440	△55	13,384
セグメント利益	582	238	30	851	△577	274

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。